

2020年4月～6月期

ひびしん中小企業景気動向調査結果

この景況レポートは、当金庫のお取引先企業に対し、四半期ごとに実施する「中小企業景気動向調査」の結果をまとめたものです。

この調査について

- | | |
|----------|--|
| 1. 調査の目的 | 当金庫取引先の動向把握と取引先に対する経営情報の提供 |
| 2. 調査の時期 | 2020年6月1日～5日 |
| 3. 調査方法 | 調査員による聞き取り調査またはご回答企業による直接記入法 |
| 4. 調査対象 | 福岡ひびき信用金庫取引先 265企業
回答 265企業 回答率 100.0% |
| 5. 分析方法 | D I（Diffusion Index）を中心に分析
D Iとは、各調査項目に対してプラス傾向（増加・上昇）の回答割合からマイナス傾向（減少・下降）の回答割合を差し引いたもので、基本的には変化の方向を表します。△はマイナスの表示です。 |

調査対象企業

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	合計	回答率%
調査対象企業数	62	34	55	36	47	31	265	100.0
回答企業	62	34	55	36	47	31	265	

1. 概況

～新型コロナウイルスの感染拡大による経営悪化が深刻に（未曾有の悪化へ）～

2020年4～6月期（今期）の業況判断D Iは△50.8と、前期比△46.8ポイントと大幅に悪化しました。収益面では、売上額判断D Iが△59.1と前期比△54.3と大幅の下降となりました。また、前年同期比売上額判断D Iも、△57.0ポイントと大幅に悪化しました。また人手過不足判断D Iは△4.5（前期は△29.0）と人手不足感は継続しています。

景況天気図

・前期：2020年1～3月期 ・今期：2020年4～6月期 ・見通し：2020年7～9月期

良い ← → 悪い

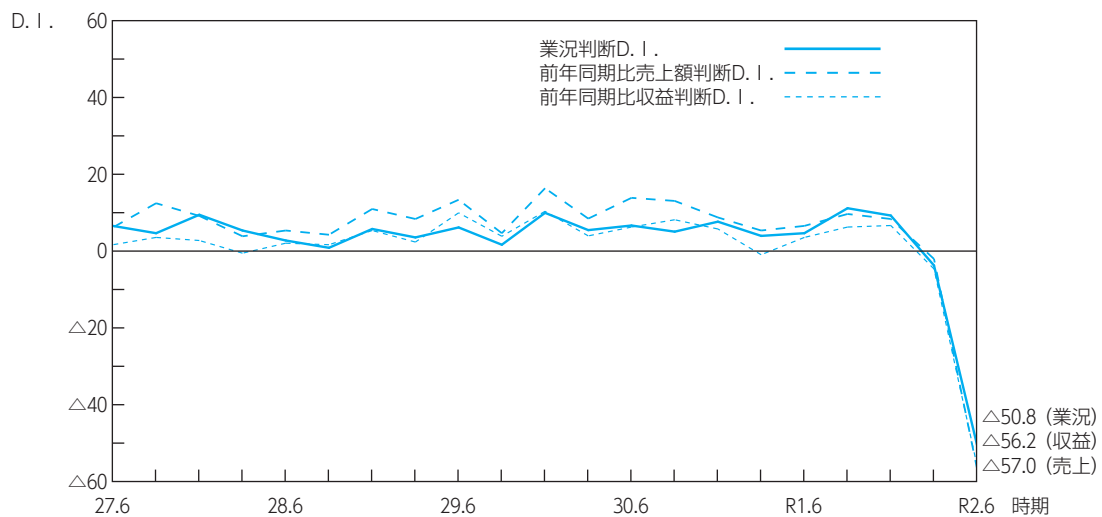
	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
前期							
今期							
見通し							

（この天気図は調査結果から総合的に判断して作成しました）

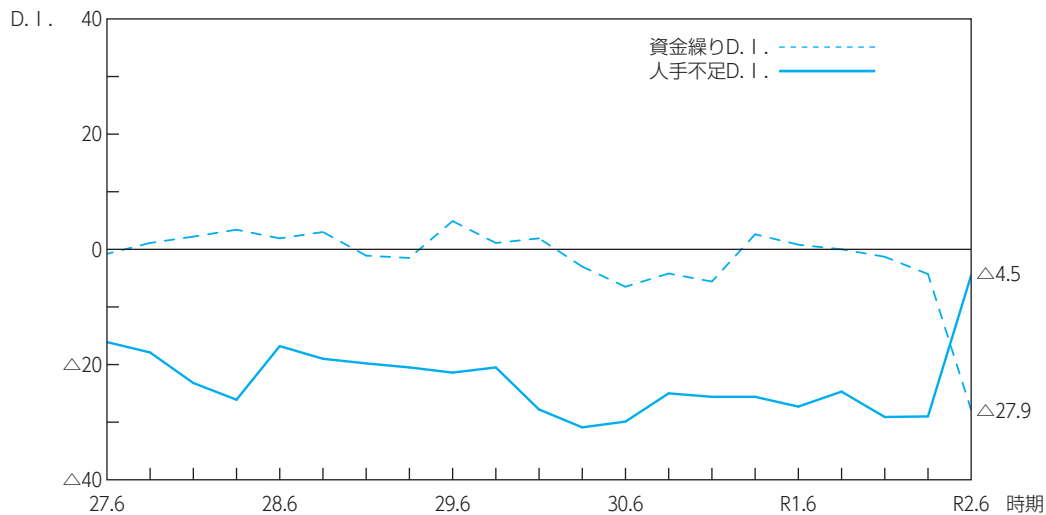
〈主要判断D.I.〉

		前年同期	前 期	今 期	今期-前期	来期予想	対前年 同期実績
イ 業 況		4.5	-3.9	-50.8	-46.8	-53.0	-55.3
□ 売上・収益・ 価格の動き (前期比)	売 上 額	8.0	-4.8	-59.1	-54.3	-42.8	-67.0
	収 益	6.8	-6.5	-56.6	-50.1	-41.3	-63.4
	販売価格	4.2	2.2	-10.2	-12.4	-5.7	-14.4
	資金繰り	0.8	-4.3	-27.9	-23.6	-22.3	-28.7
ハ 昨年同時期と の比較	売 上 額	6.4	-2.2	-57.0	-54.8		-63.4
	収 益	3.4	-4.8	-56.2	-51.5		-59.6
ニ 雇用面の動き	人手不足	-27.3	-29.0	-4.5	24.5	-5.3	22.7

〈主要判断D.I.の推移〉



〈資金繰りD.I.・人手不足D.I.の推移〉



2. 業種別業況

製造業

～業況は大幅に減少（新型コロナの影響）～

販売納入先 割合 (%)	① 問屋・商社 3.2	② 大メーカー 30.6	③ 中小メーカー 50.0	④ 小売業者 9.7	⑤ 最終需要家 6.5
-----------------	-------------	--------------	---------------	------------	-------------

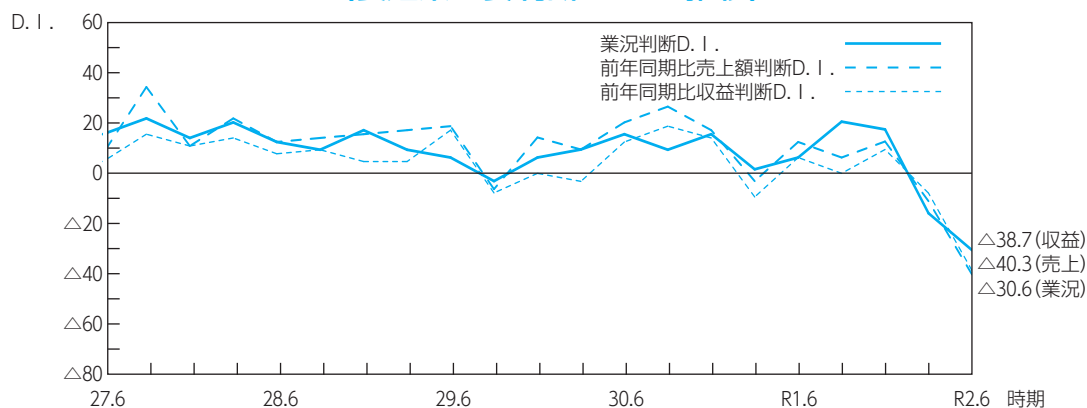
輸出について 割合 (%)	① 輸出主力 4.8	② 内需主力 95.2
------------------	------------	-------------

今期の業況判断D Iは、△30.6と、前期比△14.8ポイントで急激に下降。来期の予想も△46.8と大幅な減少傾向が見込まれます。前年同期比売上額判断D Iは、前年同期比△52.8ポイント、同収益判断D Iも△45.0ポイントと大きく減少となりました。人出過不足判断D Iは△3.2（前期は△28.6）と、人手不足感の厳しさは続いています。

〈主要判断D. I.〉

		前年同期	前 期	今 期	今期-前期	来期予想	対前年 同期実績
イ 業 況		6.3	-15.9	-30.6	-14.8	-46.8	-36.9
ロ 売上・収益・ 価格の動き	売上額	10.9	-1.6	-43.5	-42.0	-37.1	-54.5
	受注残	9.4	-6.3	-41.9	-35.6	-37.1	-51.3
	収 益	7.8	0.0	-38.7	-38.7	-30.6	-46.5
	販売価格	3.1	-1.6	-6.5	-4.9	-1.6	-9.6
	原材料価格	6.3	4.8	-4.8	-9.6	-1.6	-11.1
	原材料在庫	0.0	-1.6	0.0	1.6	0.0	0.0
	資金繰り	4.7	-7.9	-22.6	-14.6	-11.3	-27.3
ハ 昨年同時期と の比較	売上額	12.5	-11.1	-40.3	-29.2		-52.8
	収 益	6.3	-7.9	-38.7	-30.8		-45.0
ニ 雇用面の動き	残業時間	4.7	-11.1	-32.3	-21.1	-24.2	-36.9
	人 手	-32.8	-28.6	-3.2	25.3	-6.5	29.6

〈製造業主要判断D. I.の推移〉



卸売業

～業況は大幅に悪化減少（新型コロナ・オリンピック延期の影響）～

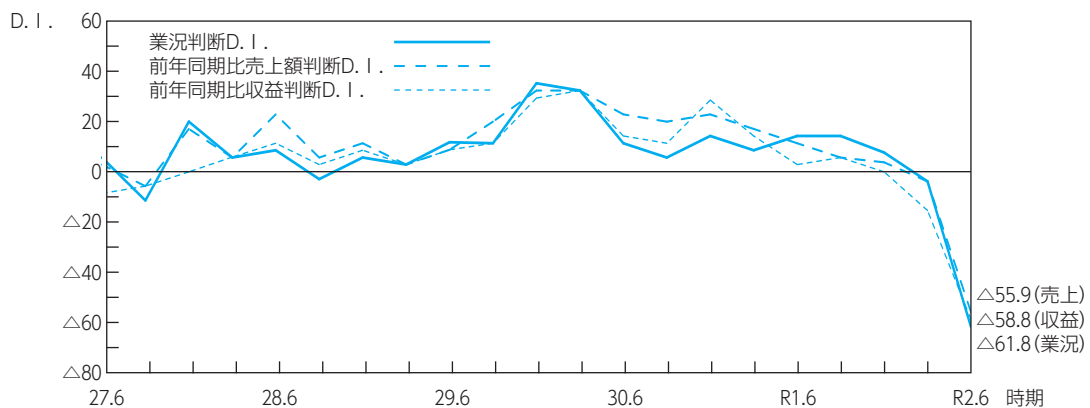
販売納入先 割合 (%)	① 問屋・商社 17.6	② 大メーカー 11.8	③ 中小メーカー 38.2	④ 小売業者 32.4
-----------------	--------------	--------------	---------------	-------------

今期の業況判断D Iは、△61.8と前期比△57.9ポイントと大幅に下降。売上額判断D Iは、△61.8と前期比△42.5ポイントと大幅に下降、収益判断D Iも△67.6と前期比△40.7ポイントで大幅に下降しました。前年同期比売上額判断D Iは△67.3ポイント、同収益判断D Iは△61.7ポイントと大幅の悪化となりました。来期の予想業況判断D Iは△67.6と今期実績比△5.8ポイントと更なる悪化が予想されます。

〈主要判断D.I.〉

		前年同期	前 期	今 期	今期-前期	来期予想	対前年 同期実績
イ 業 況		14.3	-3.8	-61.8	-57.9	-67.6	-76.1
ロ 売上・収益・ 価格の動き	売上額	8.6	-19.2	-61.8	-42.5	-64.7	-70.3
	収 益	14.3	-26.9	-67.6	-40.7	-58.8	-81.9
	販売価格	2.9	0.0	-5.9	-5.9	-2.9	-8.7
	仕入価格	11.4	7.7	0.0	-7.7	-5.9	-11.4
	在 庫	-5.7	7.7	14.7	7.0	14.7	20.4
	資金繰り	-5.7	7.7	-20.6	-28.3	-32.4	-14.9
ハ 昨年同時期と の比較	売上額	11.4	-3.8	-55.9	-52.0		-67.3
	収 益	2.9	-15.4	-58.8	-43.4		-61.7
	販売価格	5.7	-7.7	-17.6	-10.0		-23.4
ニ 雇用面の動き	残業時間	0.0	-3.8	-35.3	-31.4	-35.3	-35.3
	人 手	-17.1	-19.2	0.0	19.2	0.0	17.1

〈卸売業主要判断D.I.の推移〉



小売業

～業況は大幅に悪化減少 巣ごもり現象・外出自粛 響くか（新型コロナの影響）～

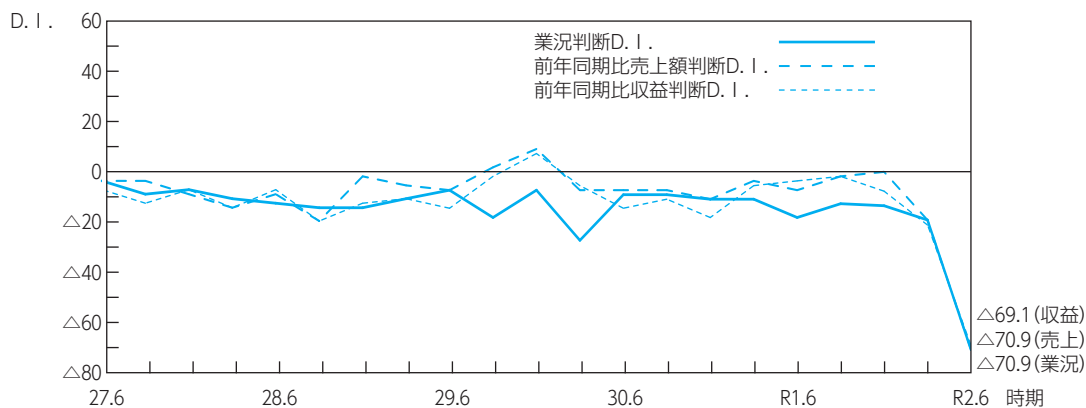
お店の立地地域 割合 (%)	① 駅周辺商店街 23.6	② 住宅地隣接商店街 34.5	③ 団地内商店街 1.8	④ その他 40.0
-------------------	---------------	-----------------	--------------	------------

今期の業況判断D Iは△70.9と、前期比△51.7ポイントと大幅に下降。売上額判断D Iは、△72.7と前期比△51.6ポイントの大幅に悪化。収益判断D Iは、△70.9と前期比△51.7ポイントと大幅下降となりました。前年同期比売上額判断D Iは、今期△70.9と前年同期比△51.7ポイントと大幅減少。同収益判断D Iは今期△69.1と前年同期比△47.9ポイントと改悪しました。来期の予想業況判断D Iは、△65.5ポイントと、今期実績比5.4ポイントと若干改善されるものの厳しい状況は続きそうです。

〈主要判断D. I.〉

		前年同期	前 期	今 期	今期-前期	来期予想	対前年 同期実績
イ	業 況	-18.2	-19.2	-70.9	-51.7	-65.5	-52.7
ロ	売上・収益・ 価格の動き						
	売上額	-5.5	-21.2	-72.7	-51.6	-40.0	-67.3
	収 益	0.0	-19.2	-70.9	-51.7	-43.6	-70.9
	販売価格	5.5	3.8	-5.5	-9.3	-5.5	-10.9
	仕入価格	10.9	7.7	1.8	-5.9	-1.8	-9.1
	在庫	-3.6	-1.9	9.1	11.0	0.0	12.7
ハ	昨年同時期と の比較						
	売上額	-7.3	-19.2	-70.9	-51.7		-63.6
	収 益	-3.6	-21.2	-69.1	-47.9		-65.5
	販売価格	0.0	-3.8	-7.3	-3.4		-7.3
ニ	雇用面の動き						
	残業時間	-1.8	-1.9	-14.5	-12.6	-12.7	-12.7
	人 手	-27.3	-26.9	-9.1	17.8	-10.9	18.2

〈小売業主要判断D. I.の推移〉



サービス業

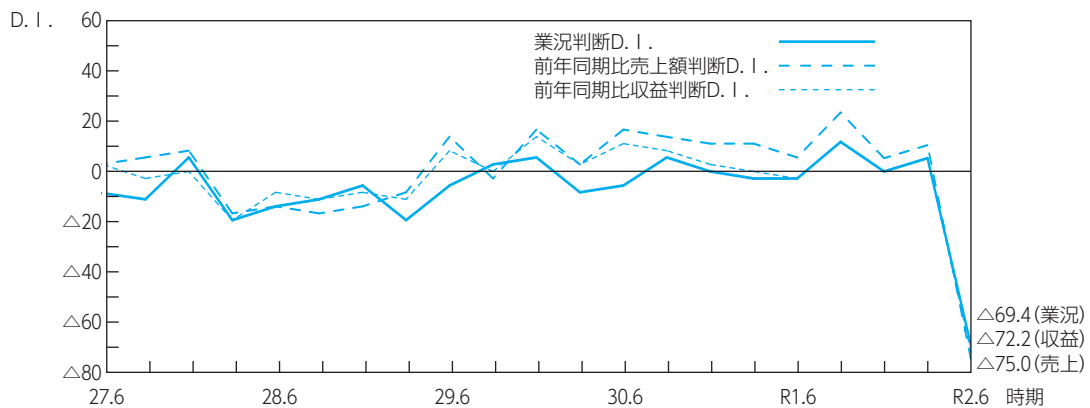
～業況は大幅に悪化 訪日客減・外出自粛 響くか（新型コロナの影響）～

今期の業況判断D Iは、△69.4と、前期比△74.7ポイントと大幅に下降。売上額判断D Iは、△75.0と前期比△69.7ポイント、収益判断D Iも、△72.2と△67.0ポイントと大幅に減少。前年同期比売上額判断D Iは、今期△75.0と前年同期比△10.5ポイントと大きく下落。来期の予想業況判断D Iは△61.1ポイントの大幅悪化を見込んでいます。

〈主要判断D. I.〉

		前年同期	前 期	今 期	今期-前期	来期予想	対前年 同期実績
イ 業 況		-2.8	5.3	-69.4	-74.7	-61.1	-66.7
ロ 売上・収益・ 価格の動き	売上額	16.7	-5.3	-75.0	-69.7	-36.1	-91.7
	収 益	8.3	-5.3	-72.2	-67.0	-36.1	-80.6
	料金価格	0.0	5.3	-8.3	-13.6	-11.1	-8.3
	材料価格	13.9	5.3	-11.1	-16.4	-8.3	-25.0
	資金繰り	-8.3	-15.8	-38.9	-23.1	-30.6	-30.6
ハ 昨年同時期と の比較	売上額	5.6	10.5	-75.0	-85.5		-80.6
	収 益	-2.8	5.3	-72.2	-77.5		-69.4
ニ 雇用面の動き	残業時間	2.8	-5.3	-25.0	-19.7	-19.4	-27.8
	人 手	-16.7	-15.8	0.0	15.8	-5.6	16.7

〈サービス業主要判断D. I.の推移〉



建設業

～業況は大幅に減少 人手不足感が続くか（新型コロナ・オリンピック延期の影響）～

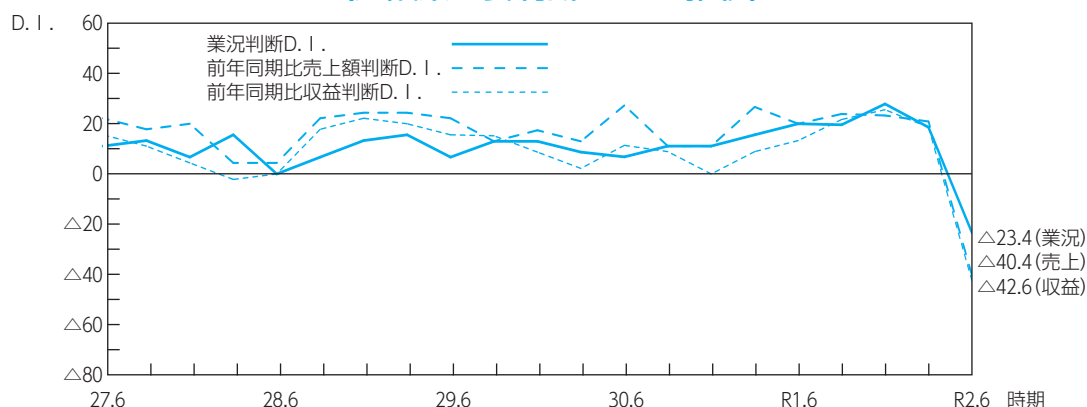
販売納入先 割合 (%)	①官公庁 31.9	②大企業 12.8	③中小企業 34.0	④個人 21.3
-----------------	-----------	-----------	------------	----------

今期の業況判断D Iは、△23.4と前期比△42.0ポイントの大幅に下降。売上額判断D Iは、△42.6と、前期比△49.5ポイントと大幅減少となりました。前年同期比売上額判断D Iは、今期△40.4で△61.4ポイントと大きく下落、同収益判断D Iは、今期△42.6の△61.2ポイント大きく下降となりました。来期の予想業況判断D Iも、△36.2ポイントと、今期実績比△59.6ポイントの大きく下落を見込んでいます。人出過不足判断D Iは、△12.8（前期は△51.2）と若干改善されるものの人手不足の厳しさは継続しています。

〈主要判断D. I.〉

		前年同期	前 期	今 期	今期-前期	来期予想	対前年 同期実績
イ 業 況		20.0	18.6	-23.4	-42.0	-36.2	-43.4
ロ 売上・収益・ 価格の動き	売上額	20.0	7.0	-42.6	-49.5	-36.2	-62.6
	受注残	20.0	2.3	-46.8	-49.1	-40.4	-66.8
	施工高	13.3	4.7	-40.4	-45.1	-36.2	-53.8
	収 益	13.3	4.7	-40.4	-45.1	-36.2	-53.8
	請負価格	6.7	4.7	-19.1	-23.8	-8.5	-25.8
	材料価格	17.8	16.3	-2.1	-18.4	6.4	-19.9
	在 庫	2.2	-7.0	-6.4	0.6	2.1	-8.6
ハ 昨年同時期と の比較	資金繰り	13.3	-7.0	-19.1	-12.2	-17.0	-32.5
	売上額	20.0	20.9	-40.4	-61.4		-60.4
ニ 雇用面の動き	収 益	13.3	18.6	-42.6	-61.2		-55.9
	残業時間	4.4	14.0	-23.4	-37.4	-21.3	-27.8
	人 手	-44.4	-51.2	-12.8	38.4	-6.4	31.7

〈建設業主要判断D. I.の推移〉



不動産業

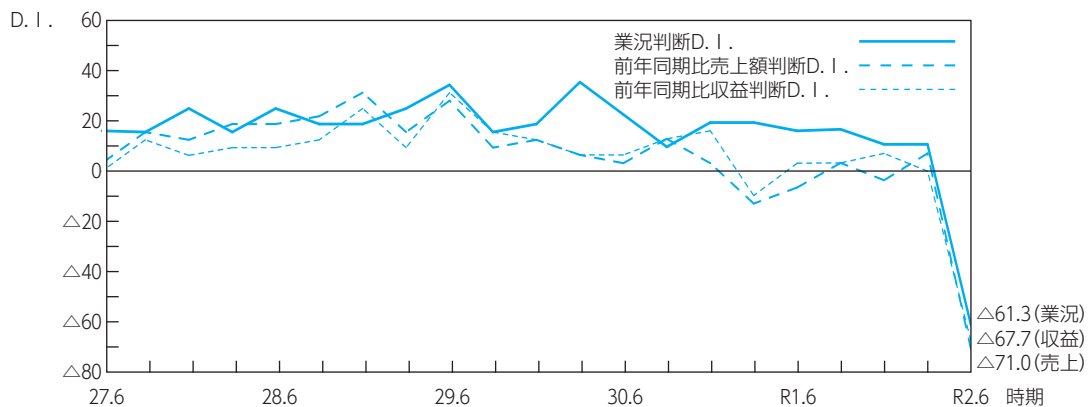
～業況は大幅に減少 好調感は下向く（新型コロナの影響）～

今期の業況判断D Iは、△61.3で前期比△72.0ポイント。売上額判断D Iは△67.7で前期比△82.0ポイントと大きく減少。前年同期比売上額判断D Iは、今期△71.0で前年同期比△7.1ポイント、同収益判断D Iは、今期△67.7で△67.7ポイントと減少の見込みです。

〈主要判断D.I.〉

		前年同期	前 期	今 期	今期-前期	来期予想	対前年 同期実績
イ 業 況		16.1	10.7	-61.3	-72.0	-41.9	-77.4
ロ 売上・収益・ 価格の動き	売上額	-3.2	14.3	-67.7	-82.0	-51.6	-64.5
	収 益	-3.2	3.6	-61.3	-64.9	-51.6	-58.1
	販売価格	6.5	3.6	-19.4	-22.9	-6.5	-25.8
	仕入価格	16.1	17.9	-16.1	-34.0	-6.5	-32.3
	在 庫	-12.9	-7.1	-12.9	-5.8	-12.9	0.0
	資金繰り	3.2	7.1	-9.7	-16.8	-6.5	-12.9
ハ 昨年同時期と の比較	売上額	-6.5	7.1	-71.0	-78.1		-64.5
	収 益	3.2	0.0	-67.7	-67.7		-71.0
ニ 雇用面の動き	残業時間	-3.2	-3.6	-22.6	-19.0	-22.6	-19.4
	人 手	-12.9	-17.9	3.2	21.1	3.2	16.1

〈不動産業主要判断D.I.の推移〉



特別調査 「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」

貴社の事業活動は、新型コロナウイルスによる影響を受けていますか。については、「国内消費の不振(41.0%)」が最も多く、以下「営業活動の自粛(40.1%)」「取引先の閉鎖等の混乱(16.4%)」「特に影響はなし(15.9%)」「展示会、イベント、商談会等の中止・延期(12.6%)」「サプライチェーン寸断等により原材料等の調達が困難(9.6%)」「店舗や工場等の閉鎖(6.1%)」「インバウンド需要の低下(4.3%)」「出社困難者の発生(3.5%)」「その他(1.5%)」が回答となりました。

次に、貴社では、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴社ではどのような対応をとられていますか。については、「生産量・営業時間の縮小(43.4%)」が最も多く、以下「特に対応を行っていない(38.6%)」「パートなど非正規社員の勤務時間削減(15.8%)」「取引条件の見直し(5.4%)」「給与やボーナス、手当の削減(4.6%)」「事業の抜本的な見直し(4.2%)」「休廃業の検討(2.5%)」「その他(1.6%)」「社員の削減〔非正規職員を含む〕(1.2%)」「生産量・営業時間の拡大(1.0%)」が回答となりました。

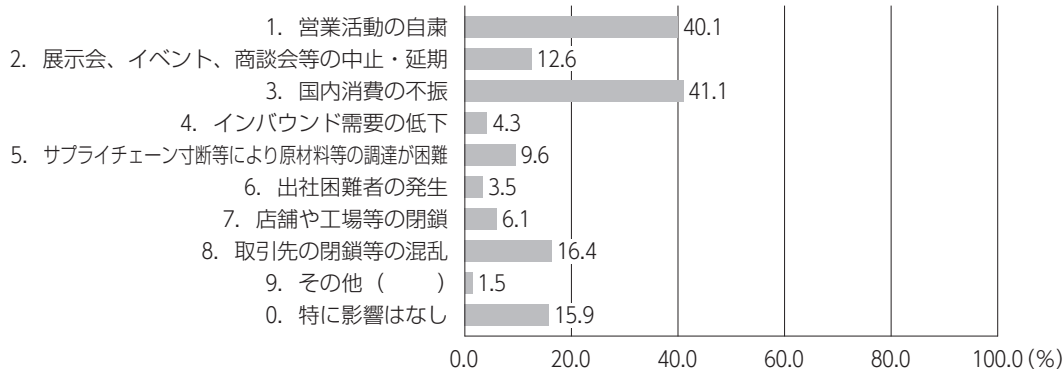
その次に、貴社における今期(4～6月)の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合(例年の4～6月)と比較して、どの程度変化しましたか。については、「ほぼ変化なし(10%未満の増減)(37.1%)」が最も多く、以下「10%以上30%未満の減少(29.0%)」「30%以上50%未満の減少(16.2%)」「50%以上70%未満の減少(6.6%)」「10%以上30%未満の増加(5.8%)」「70%以上90%未満の減少(2.5%)」「90%以上の減少(1.9%)」「30%以上の増加(0.9%)」が回答となりました。

その次に、貴社では、危機関連保証や制度融資など、新型コロナ対応の資金繰り支援制度を利用しましたか。(A)。また、資金繰り以外の政府による支援策(補助金、休業補償、減税、納税猶予など)を受けましたか。(B)。については、【A】「今後、利用する可能性がある(37.4%)」が最も多く、以下「すでに利用した(26.4%)」「今後も利用するつもりはない(20.9%)」「申請中である(14.4%)」「申請したが、利用できなかった(0.8%)」が回答となり、【B】「今後、利用する可能性がある(43.1%)」が最も多く、「申請中である(19.9%)」「すでに利用した(18.0%)」「今後も利用するつもりはない(15.3%)」「申請したが、利用できなかった(1.1%)」が回答となりました。

最後に、貴社では災害や急な不況の対策として、常時、手元の流動性資金の確保をしていると思いますが、貴社では、新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していましたか。現預金の保有が最も少ない時期(売掛金の回収直前など)を想定したうえで、お答えください。また、貴社では2020年中の資金繰りについて、どうお考えですか。については、「売上げの1～3か月分(52.7%)」が最も多く、以下「やや不安がある(46.7%)」「あまり不安はない(28.9%)」「売上げの3か月分以上(19.0%)」「売上げの2週間分～1か月分(16.8%)」「かなり不安がある(13.8%)」「不安はない(10.0%)」「ほとんど保有していない(4.9%)」「売上げの2週間分未満(4.6%)」「把握していない(2.4%)」が回答になりました。

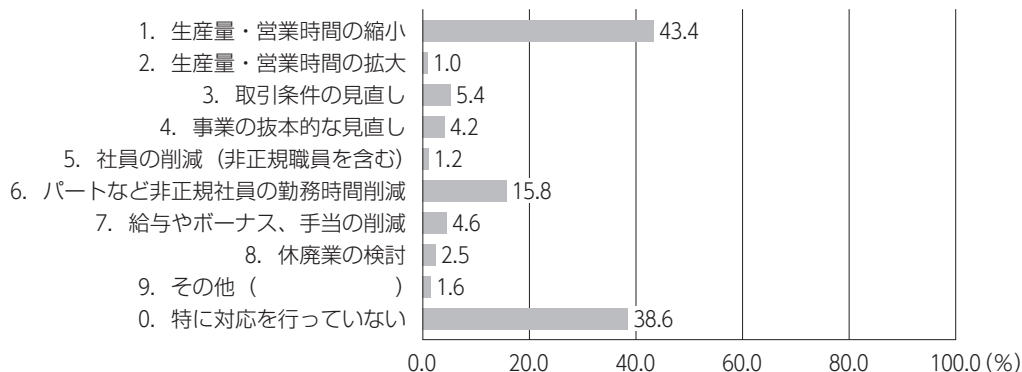
Q1

貴社の事業活動は、新型コロナウイルスによる影響を受けていますか。次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。特に影響がなかった方は、0とお答えください。



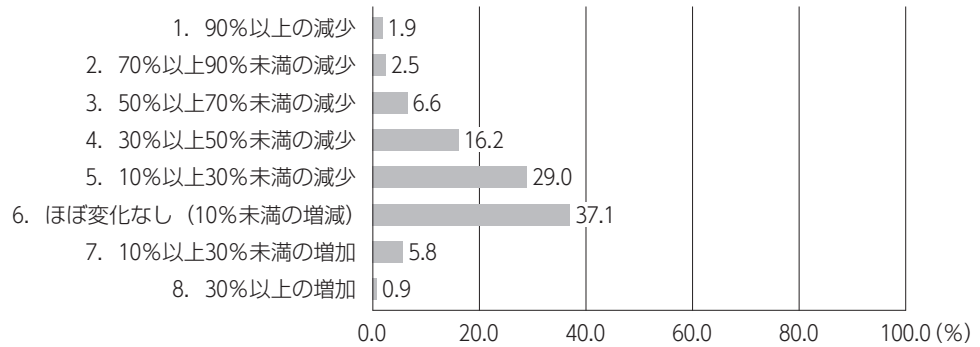
Q2

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、貴社ではどのような対応をとられていますか。次の1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。特に対応を行っていない方は、0とお答えください。



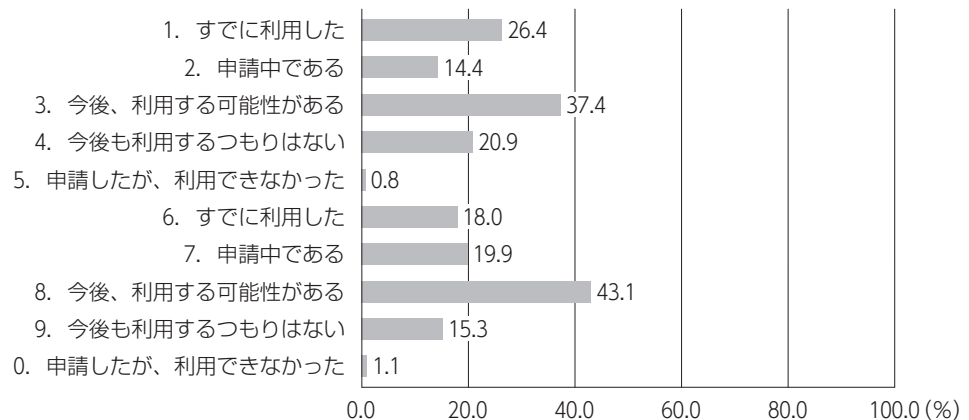
Q3

貴社における今期（4～6月）の売上は、仮に新型コロナウイルスの影響がなかった場合（例年の4～6月）と比較して、どの程度変化しましたか。次の1～8の中からお答えください。



Q4

貴社では、危機関連保証や制度融資など、新型コロナ対応の資金繰り支援制度を利用しましたか。1～5の中からお答えください。また、資金繰り以外の政府による支援策（補助金、休業補償、減税、納税猶予など）を受けましたか。6～0の中からお答えください。



Q5

災害や急な不況の対策として、常時、手元の流動性資金の確保をしていると思いますが、貴社では、新型コロナウイルスの影響が出る以前、現預金をどの程度保有していましたか。現預金の保有が最も少ない時期（売掛金の回収直前など）を想定したうえで、1～6の中からお答えください。また、貴社では2020年中の資金繰りについて、どうお考えですか。7～0の中からお答えください。

